


## 【一 般 常 識】

- 問1 エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、事故防止、経営コスト削減など、「環境」「安全」「経営」の3つの効果を期待するものである。
- 問2 SDGs（エスディーゼズ）は、国際社会が2030年までに、先進国から途上国までが普遍的に取り組む世界共通の物差しであり、貧困の撲滅や気候変動等の幅広い課題を解決し、持続可能な社会を実現するための重要な指針とされている。
- 問3 事業者は、点呼時に酒気帯びの有無を確認する場合には、運転者の状態を目視等で確認することとなっているが、営業所に備えられているアルコール検知器が故障して使用できない場合は、点呼執行者の目視による酒気帯びの有無の確認を受ければ乗務することができる。
- 問4 運転者は、運行管理者等が行う乗務前点呼、乗務後点呼や乗務途中の点呼を受けて、規定された報告をしなければならない。
- 問5 事業者には健康診断を実施する義務があるが、健康診断を受けるかどうかは労働者の自由である。
- 問6 睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に舌がのどの奥に沈下することにより気道が塞がれ、そのため、大きないびき、睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態が断続的に繰り返される病気である。
- 問7  「安全性優良事業所」認定の対象となるのは事業所単位ではなく、会社単位となっており、認定期間は2年間である。
- 問8 事業用自動車の運転者の連続運転時間（1回が連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。）は、4時間を超えてはならない。

問9 車両総重量8トン以上または最大積載量5トン以上のトラックに乗務した場合、荷主の都合により、荷待ち等で15分以上待機したときは乗務記録に記録しなければならない。

問10 デジタル式運行記録計は、自動車の運行中、交通事故や急ブレーキ、急ハンドルなどにより、当該自動車が一定以上の衝撃を受けると、その前後10数秒間の映像などを記録するための装置である。

## 【運 転 常 識】

問11 徐行とは、車両等が直ちに停止できるような速度で進行することをいう。

問12 横断歩道等及びその手前の側端から30メートル以内は、追越しは禁止だが追い抜きは禁止されていない。

問13 一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運行の安全を確保するために行う初任運転者に対する特別指導は、当該事業者において初めてトラックに乗務する前に実施することとなっているが、やむを得ない事情がある場合には、乗務を開始した後3か月以内に実施しなければならない。

問14 酒気帯び運転とは、呼気1リットル中0.15ミリグラム以上、又は血液1ミリリットル中0.3ミリグラム以上のアルコールを体内に保有している状態で車両を運転した場合をいい、呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満の場合は、基準以下なので違反とはならない。

問15 車両は、所定の方法によって、駐車した場合、その車両の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がなくなる場所では駐車してはならない。ただし、貨物の積卸しを行う場合で、運転者がその車両を離れないとき、または離れても直ちに運転できる状態にあるときは駐車できる。

問16 右左折するときは、右左折する3秒前に合図をしなければならない。

問17 夜間に前照灯を点灯する場合は、上向き点灯が原則である。ただし、対向車がいる場合は、前照灯を下向き点灯に切り替える。

問18 大型自動車の積載物の幅は、自動車の幅を超えてはならない。

問19 平成29年3月12日から施行された新しい免許制度で新設された準中型免許を取得すれば、最大積載量4.5トン未満、車両総重量8.5トン未満の車両を運転することができる。

問20 前方の自動車を同じ距離で見た場合、運転席が高い位置にある大型車の場合は、車間距離に余裕がないように感じ、乗用車の場合は、大型車の見え方とは逆の感じを受けることとなる。

## 【車 両 常 識】

問21 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回、運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

問22 事業用自動車の定期点検整備は、国土交通省令で定める技術上の基準により、1か月、3か月、12か月ごとに行わなければならない。

問23 車両総重量8トン以上の大型自動車は、スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷、スペアタイヤの取付状態、ツールボックスの取付部の緩み及び損傷について、3か月ごとに点検を行わなければならない。

問24 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の普通自動車である事業用自動車は、運行記録計の装着が義務付けられている。

問25 貨物運送の用に供する自動車の車体の後面には、最大積載量と車両重量を表示しなければならない。

問26 自動車ハンドルを切って右左折するときやバックするとき、後輪は前輪より内側を通る。

問27 エンジンオイルは粘度が高いほど燃費が良くなり、粘度が低いほど悪くなる。

問28 荷台に貨物をのせ、急ブレーキをかけると、重量が増すごとに制動距離が短くなる。

問29 先進安全自動車（A S V）とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車で、A S V技術には衝突被害軽減ブレーキ、ふらつき注意喚起装置、車線逸脱警報装置等がある。

問30 タイヤの空気圧不足で高速走行したとき、タイヤの接地部に波打ち現象が生じ、セパレーションやコード切れ等が発生することを「スタンディングウェーブ現象」という。